



映画「WOOD JOB! (ウツジョブ!) ～神去なあなあ日常～」

津市特別試写会・ パネル展の開催について



津市美杉総合文化センター・
市美杉庁舎

津市伊勢奥津駅前
観光案内交流施設



平成26年3月3日

津市特別試写会の開催

抽選で100組200名をご招待！

映画「WOOD JOB! (ウツジョブ!) ～神去なあなあ日常～」
津市特別試写会を開催！

日時 平成26年5月2日(金) 18時15分開場 18時30分開演

場所 イオンシネマ津(桜橋三丁目446)

応募条件 津市内に在住の人

応募方法 はがき、ファクス、Eメール、
津市ホームページ(試写会応募専用ページ)

平成26年3月4日(火)から募集開始！

応募締切 4月15日(火)必着



©2014「WOOD JOB!～神去なあなあ日常～」製作委員会

津市美杉総合文化センター・市美杉庁舎の開設

開設式

平成26年3月31日(月)
10時～12時

同日から業務開始



完成予想図



工事中の総合文化センター(2月20日現在)

津市美杉総合文化センター・ 市美杉庁舎の概要

開設日 平成26年4月1日
所在地 津市美杉町八知5580番地2
敷地面積 8,010.88㎡
延床面積 2,097.14㎡

津市美杉総合文化センター・市美杉庁舎オープニング事業

映画「WOOD JOB! (ウツジョブ!) ～神去なあなあ日常～」 パネル展を開催

ロケ風景や映画のワンシーンを
パネルで展示！



3月31日(月)から開催！

Photo by 映画製作委員会

津市伊勢奥津駅前観光案内交流施設落成式及び見学会

落成式

平成26年3月16日(日)
11時00分～11時40分

見学会 11時40分～15時00分



位置図



津市伊勢奥津駅前観光案内交流施設の概要

開設日 平成26年4月1日

所在地 津市美杉町奥津1288番地8

開館時間 9時～16時

休館日 毎週水曜日、年末年始

面積／構造 延べ床92.75㎡／木造平屋建

施設管理 指定管理者「伊勢本街道を活かした
地域づくり協議会」(H26.4.1～H29.3.31)

津市伊勢奥津駅前観光案内交流施設オープニング事業

パネル展の開催

美杉町で撮影されたロケ風景のパネルや
映画出演者のサインパネルを展示！

開催日時

プレパネル展 施設見学会と同時開催

平成26年3月16日(日)

11時40分～15時00分

パネル展

平成26年4月1日(火)から開催



施設内風景



Photo by
映画製作委員会

平成26年度 地域福祉推進体制の強化について

- ▶ **敬老事業のあり方の見直し**
- ▶ **地域福祉活動補助金の創設**
- ▶ **津市地域福祉政策会議の設置**
- ▶ **津市地区社会福祉協議会連絡協議会の設置**

平成26年3月3日

敬老事業あり方検討会の提言を受けて①

これまでの経緯

- ▶ 平成18年市町村合併後、各地区社協単位で敬老会などの敬老事業を実施
- ▶ 数年経過し、各地区社協において問題や課題を確認
- ▶ 平成25年5月より、敬老事業あり方検討会を4回実施
- ▶ 同年10月、提言書を受領
- ▶ 敬老事業について政策協議を実施

提言内容

- ▶ 対象経費や開催方法など自由度を確保
- ▶ 助成額の見直し
- ▶ 実施体制の明確化

見直し内容

- ▶ 自由度が確保できる交付金への変更
- ▶ 助成金の増額
- ▶ 関係機関の体制の明確化

敬老事業あり方検討会の提言を受けて②

自由度が確保できる交付金への変更

- ▶ 平成26年度より、補助金から交付金にあらため、
 - ① 事前準備費、スタッフ費用等の充当も可能
 - ② 地区での行事・イベントとの共同開催も可能
 - ③ 9月の敬老月間だけでなく前後数ヶ月も可能
 - ④ 複数年に1度、大規模での開催も可能
- とし、柔軟に敬老事業が実施できるように、自由度を確保

助成金の増額

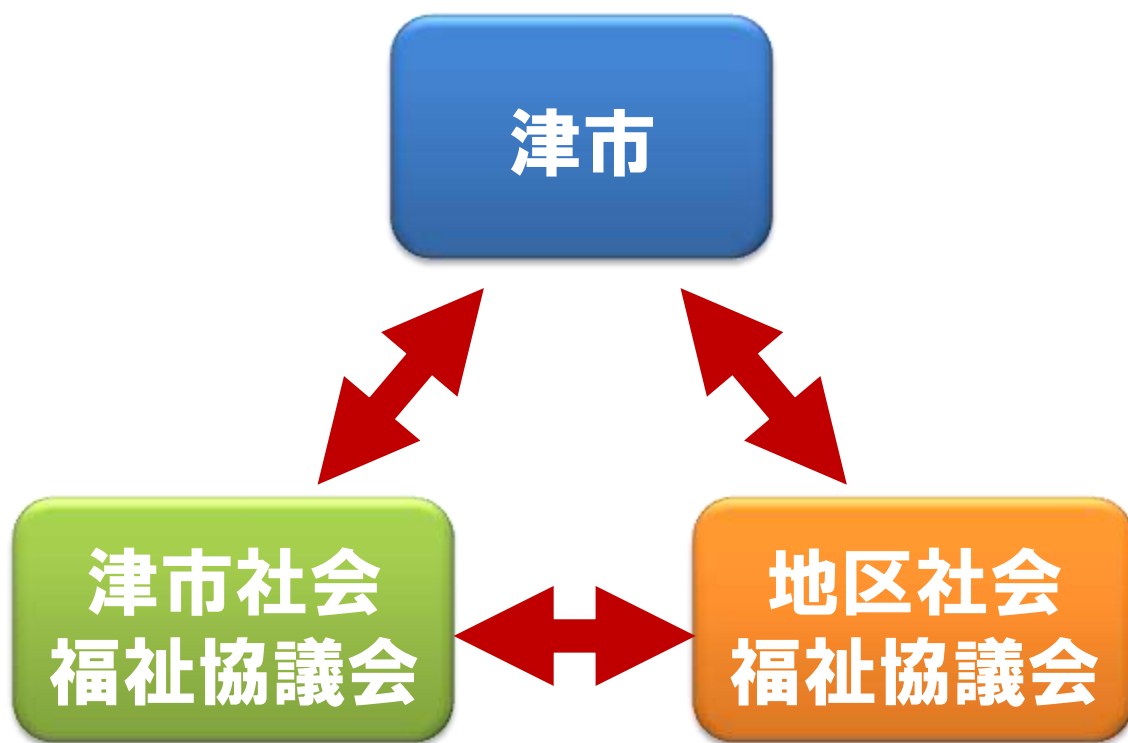
- ▶ 平成26年度当初予算(案)に計上
敬老事業の1人当たりの助成額を増額

1人当たり 800円 ▶ 1,000円

平成25年度 4,842万9千円 → 平成26年度 6,174万6千円 (1,331万7千円増額)

敬老事業あり方検討会の提言を受けて③

関係機関の体制の明確化



津市

敬老事業に係る経費を負担し、市社協へ交付金を交付

市社協

各地区社協の事業内容を把握し、交付金を配分

地区社協

地区社協：敬老事業を主管し、企画・運営

津市及び津市社会福祉協議会は、地区社協が実施する敬老事業の運営に関する助言や情報の共有を図り、充実した敬老事業を実施するためサポート

地域福祉の目指す姿

地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活することのできる
『福祉のまちづくり』の実現が地域福祉の原点

地域福祉を支える3つの力

自 助

自分自身や
家族で支える力

共 助

||
地域の福祉力

公 助

行政が主体的に
行う取組

地域住民と行政と関係機関が一体となって、共助の基盤を整備し、
地域の福祉力を高めていく仕組みが求められている

地域福祉活動の中核となる組織

津市社会福祉協議会

社会福祉法第109条に基づき、地域福祉の推進を図ることを目的に組織された公益性の高い民間団体として、地域福祉活動を展開

津市と社協間の課題

津市と津市社会福祉協議会がそれぞれの役割と責任を果たすため、地域福祉を推進するうえでの役割分担を明確する必要がある

地区社会福祉協議会

地域の福祉課題を地域住民がその解決に向けてお互いに協力し合う住民組織として、それぞれの地域に根ざした活動を展開

地域が抱える課題

市内に43ある地区社協を体系的に組織力を持って活動することで、より活発に事業を展開したいとの声

地域福祉活動補助金の創設

津市の役割

施策の制度設計を行い、予算措置することで、地域福祉事業の推進を図る躯体を形成

津市が社協に求める機能

福祉の専門集団である社協のマンパワーを活用し、地域密着型のきめ細やかな福祉サービスを提供

補助事業体系の見直し

「津市の役割」と「津市が社協に求める機能」を反映させた地域福祉事業を推進するため、津市社会福祉協議会に運営事業補助金として一括して交付していた補助金を、事業の実態に応じて分類し、地域福祉活動補助金を創設

平成26年度当初予算(案)の姿

平成25年度

運営事業補助金
3億9,334万3千円

平成26年度(案)

運営事業補助金 1億4,099万9千円
法人運営に係る人件費及び事務費

地域福祉活動補助金 2億4,701万8千円
地域福祉活動に係る人件費及び事務費

主な事業

小地域福祉活動支援事業、心配ごと相談事業、ボランティアセンター事業、福祉協力校推進事業、共同募金配分事業、広報啓発事業、有償在宅福祉サービス事業、社会福祉大会、ふくしまつり、(新)地区社協運営補助

合計 3億8,801万7千円 (▲532万6千円)

平成26年度の取り組み

津市地域福祉政策会議の設置

- ▶ **津市と津市社協の地域福祉に係る政策調整の場として、「津市地域福祉政策会議」を設置**

政策会議…市長・市社協会長を軸に6人程度(年1～2回開催)

実務会議…健康福祉部長・市社協常務を軸に必要なに応じて随時開催

地区社会福祉協議会連絡協議会の設置

- ▶ **43の地区社協を体系化し、地区社協の連合体として、「津市地区社会福祉協議会連絡協議会」を設置**

43地区社協の代表者会議